



## 2019年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年3月1日

上場会社名 株式会社ダイサン 上場取引所 東  
 コード番号 4750 URL <http://www.daisan-g.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 武敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 多留 健二 TEL 06-6243-6341  
 四半期報告書提出予定日 2019年3月1日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年4月期第3四半期の業績 (2018年4月21日～2019年1月20日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第3四半期	6,164	△0.5	364	△28.1	370	△28.3	223	△24.9
2018年4月期第3四半期	6,194	0.1	506	△5.0	516	△5.3	298	△14.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第3四半期	34.90	—
2018年4月期第3四半期	46.48	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年4月期第3四半期	8,661	6,755	78.0	1,053.38
2018年4月期	8,272	6,705	81.1	1,045.65

(参考) 自己資本 2019年4月期第3四半期 6,755百万円 2018年4月期 6,705百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2019年4月期	—	13.00	—		
2019年4月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年4月期の業績予想 (2018年4月21日～2019年4月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	4.8	655	0.3	655	△1.2	420	6.2	65.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年4月期3Q	7,618,000株	2018年4月期	7,618,000株
② 期末自己株式数	2019年4月期3Q	1,205,111株	2018年4月期	1,205,110株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年4月期3Q	6,412,889株	2018年4月期3Q	6,412,890株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が堅調に推移し、景気は内需の底堅さを背景に緩やかな回復が続いたものの、人手不足や原油高によるコストへの影響、米中貿易摩擦による輸出の減速感から、先行きに対する不透明感が強まりました。

当社に関連の深い住宅業界について、住宅着工戸数は前年同期と比べ弱い動きが続き、利用関係別では特に貸家に対する着工戸数の減少が目立ちました。また、建設業における人手不足は深刻さを増し、労働力確保の厳しい状態が続きました。

こうした状況において、当社では当事業年度を初年度とする新たな中期経営計画を立ち上げ、3事業年度の売上高、営業利益目標及び株主還元方針を設定致しました。計画においては中層大型建築物向け足場施工と製商品の販売拡大や施工サービス事業の資源を利用した事業領域の拡大、多様な人財の獲得と働きやすい職場環境の構築など5つの重点戦略を掲げております。当期間については、減少が想定される新築注文向け工事から中層大型建築物向け工事への施工資源シフト、人手に頼らない建設現場に関わる新たなサービスの開拓、市場ニーズに対応した新型足場の開発、働く環境の改善として賃金や勤務体系など就労条件の改定を進めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は6,164百万円(前年同期比0.5%減)、利益につきましては、営業利益364百万円(同28.1%減)、経常利益370百万円(同28.3%減)、四半期純利益223百万円(同24.9%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、新たな中期経営計画にて進めている中層大型建築物向けの営業活動を積極的に進めた結果、同建築物向けの足場施工は大きく増加致しました。また、当第3四半期会計期間中には、夏場に相次いだ自然災害に対する復旧工事の依頼が増えたものの、夏場の猛暑などから在籍する施工スタッフ数が減少し、足場施工の対応力が不足することとなりました。

以上の結果、売上高は5,197百万円(前年同期比0.2%減)、売上総利益は1,752百万円(同5.0%減)となりました。

#### ②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、足場施工を行う取引先にて、当第3四半期会計期間中、自然災害に対する復旧工事が増えたことからビケ足場に対する需要が増え、製商品の販売は堅調に推移致しました。また、開発が遅れていた中層大型建築物工事向けに安全性を高めた新型足場について、第2四半期会計期間末に完成し、量産体制が整いました。

以上の結果、売上高は914百万円(前年同期比0.4%減)、売上総利益は259百万円(同1.0%増)となりました。

#### ③その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は52百万円(前年同期比22.5%減)、売上総利益は29百万円(同23.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加195百万円、貸貸用仮設材の減少122百万円、有価証券の増加100百万円、土地の増加237百万円等により前事業年度末に比べ388百万円増加の8,661百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加192百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加91百万円、未払法人税等の減少103百万円、長期借入金の増加150百万円等により前事業年度末に比べ339百万円増加の1,905百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ49百万円増加の6,755百万円となり、自己資本比率は78.0%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月期の業績予想に関する事項につきましては2018年5月31日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年4月20日)	当第3四半期会計期間 (2019年1月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,249,166	2,196,178
受取手形及び売掛金	1,280,078	1,475,721
電子記録債権	253,375	161,928
有価証券	—	100,084
たな卸資産	453,506	541,028
賃貸用仮設材	684,460	561,606
その他	25,525	13,113
貸倒引当金	△2,648	△2,556
流動資産合計	4,943,464	5,047,105
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,419,594	1,656,757
その他(純額)	562,629	674,565
有形固定資産合計	1,982,224	2,331,323
無形固定資産	92,171	108,724
投資その他の資産		
投資有価証券	713,464	601,534
その他	545,734	575,929
貸倒引当金	△4,862	△3,501
投資その他の資産合計	1,254,336	1,173,962
固定資産合計	3,328,732	3,614,010
資産合計	8,272,197	8,661,115
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346,638	538,686
電子記録債務	203,226	216,101
1年内返済予定の長期借入金	8,700	100,000
未払法人税等	128,814	24,966
賞与引当金	152,445	118,690
その他	560,277	591,676
流動負債合計	1,400,101	1,590,120
固定負債		
長期借入金	—	150,000
資産除去債務	75,999	78,048
その他	90,439	87,760
固定負債合計	166,439	315,808
負債合計	1,566,541	1,905,928

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年4月20日)	当第3四半期会計期間 (2019年1月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	566,760	566,760
資本剰余金	649,860	649,860
利益剰余金	6,334,760	6,391,820
自己株式	△918,981	△918,982
株主資本合計	6,632,399	6,689,457
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,257	65,729
評価・換算差額等合計	73,257	65,729
純資産合計	6,705,656	6,755,186
負債純資産合計	8,272,197	8,661,115

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月21日 至 2018年1月20日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年4月21日 至 2019年1月20日)
売上高	6,194,140	6,164,385
売上原価	4,053,532	4,122,262
売上総利益	2,140,608	2,042,123
販売費及び一般管理費	1,633,789	1,677,697
営業利益	506,818	364,425
営業外収益		
受取利息	459	308
受取配当金	1,931	2,412
受取保険金	—	189
受取賃貸料	640	—
その他	13,048	9,167
営業外収益合計	16,079	12,077
営業外費用		
支払利息	217	870
減価償却費	1,420	1,257
支払手数料	1,021	1,026
その他	3,292	2,556
営業外費用合計	5,952	5,710
経常利益	516,946	370,792
特別損失		
減損損失	31,744	—
固定資産除売却損	1,237	1,499
特別損失合計	32,982	1,499
税引前四半期純利益	483,963	369,293
法人税、住民税及び事業税	168,450	128,501
法人税等調整額	17,414	16,997
法人税等合計	185,864	145,499
四半期純利益	298,098	223,794

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2017年4月21日 至2018年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,207,896	917,855	6,125,751	68,389	6,194,140
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,207,896	917,855	6,125,751	68,389	6,194,140
セグメント利益	1,844,512	257,076	2,101,588	39,019	2,140,608

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

各セグメントに配分していない全社資産で、売却の決定がなされた売却予定資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において31,744千円であります。

II 当第3四半期累計期間(自2018年4月21日 至2019年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,197,082	914,308	6,111,390	52,994	6,164,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,197,082	914,308	6,111,390	52,994	6,164,385
セグメント利益	1,752,476	259,711	2,012,188	29,935	2,042,123

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。